

入試情報

アドミッションポリシー

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 豊かな人間性と倫理性を備えた、社会の多方面で活躍と貢献が出来る高級技術者または研究者として明確な目的意識とモチベーションを有する人。
2. 目的を達成するために向上心と強い意志を持ち続け、さらにチャレンジング精神や好奇心の旺盛な人。

入学者選抜の基本方針

教育理念・目標に合致した学生を選抜するために、学力検査（筆答試験および口述試験）、出願書類、面接等に基づき、志願者の能力や資質を総合的に評価して選抜します。また、入学者の選抜は年2回実施し、4月または10月入学を選択することができます。

募集人員

専攻	募集人員	
	平成28年度10月入学	平成29年度4月入学
獣医学	若干名	12名

- * 第2次募集は、第1次募集の状況により実施しない場合があります。
- * 第2次募集実施の有無については、第1次募集合格発表後に本研究所ホームページ（<http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~renju/v04.html>）で公表する予定です。

選抜の方法

- (1) 学力検査
 - ①筆答試験 外国語科目：英語
 - ②口述試験 最近の研究内容（卒業論文、修士論文、研究業績、症例発表等）及び今後の研究計画を中心に発表10分、質疑応答を20分程度行います。
- (2) 渡日前特別選抜（外国人留学生）
試験日に来日できない留学生を対象とし、出願書類で総合的に審査・判定。

出願期間

平成28年度10月入学 平成29年度4月入学（第1次）	平成28年8月3日（水）～ 平成28年8月9日（火）
平成29年度4月入学（第2次）	平成29年1月16日（月）～ 平成29年1月20日（金）

選抜日時

平成28年度10月入学 平成29年度4月入学（第1次）	平成28年9月1日（木）
平成29年度4月入学（第2次）	平成29年2月7日（火）

学生支援

- ①授業料免除、入学金免除の制度があります。
- ②条件を満たすと日本学生支援機構の奨学金（例、一種：月額12万2千円または8万円）を受けることができます。
- ③入学後、審査を経て日本学術振興会の特別研究員（DC1、DC2）に採用されると、研究奨励金（平成28年度は月額20万円の予定）と研究費（毎年度150万円以内）を受給することができます。

山口大学大学院連合獣医学研究科
The United Graduate School of Veterinary Science, Yamaguchi University

〒753-8515 山口県山口市吉田 1677-1

Yoshida 1677-1, Yamaguchi 753-8515, Japan

TEL: 083-933-5936・5937 +81-83-933-5936/5937

FAX: 083-933-5938 +81-83-933-5938

<http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~renju/>



山口大学大学院 連合獣医学研究科

構成大学

山口大学



UVY

鳥取大学



鹿児島大学



連携大学院

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

- ・動物衛生研究部門
- ・生物機能利用研究部門

国立感染症研究所
日本中央競馬会

研究科長からのメッセージ

世界への扉をノックする ー大学院に学ぶー

研究科長 佐藤 宏

私たちの毎日の生活は世界との深い繋がりの中で成り立っています。獣医学と獣医医療は、そんな毎日の生活を支障なく、豊かに暮らせるように下支えする多岐に亘る応用科学分野を包含しています。高度の専門知識と課題解決力を持ち、「食の安全・安心と安定供給」、「環境保全」、「高度伴侶動物医療」における今日的な課題に取り組む若者を社会は必要としています。明日の世界を拓くためには、複合的な視点からの思考と豊かな知識、信頼できる高度技術力、情報発信力が求められます。6年間の獣医学あるいは関連分野での教育で得た幅広い知識と高度技術の修得を更に発展させ、今日の世界が直面する課題を独自の視点から考え、新たな解決策を提言して実行できる力を養う貴重な機会が大学院では得られるはずで、大学教育までの受動学習から大学院での能動的な自己研鑽機会へと移行するなかで、あなたの新たな能力と行動力が自己発見されることを期待します。本研究所は鳥取大学、山口大学、鹿児島大学で構成される連合大学院です。豊富な大学院指導教員の中から、あなたの自己実現を支えてくれる研究指導者を選んでください。基礎知識を広め、個別分野の最新の知識を繋ぐ有機的な思考を鍛錬し、科学技術を活かした検証が創造的研究へと進展する時間をもつことで、世界があなたと密接に繋がる瞬間を実感できることでしょう。世界への扉はあなたの身近にあって、あなたのノックを待っていることでしょう。輝く宝石も磨かなければ光りません。

連合獣医学研究科は平成27年に設置25周年を迎え、学位を授与された400名を超える先輩たちが、国内外のさまざまな獣医事の最前線で活躍しています。海外のさまざまな課題に取り組む帰国留学生と在学が共に学ぶ機会（UVYフェロー制度）、国際学会やアジア圏の大学院生が集うJoint Symposiumへの参加など、大学院生の世界への果敢な挑戦を研究科は積極的に支援しています。

研究科の特色

本研究所を構成する3大学の教育研究内容は、それぞれの大学の沿革と、立地条件に対応した特色があります。3大学獣医学科の連携・協力により、これらの特色を十二分に活用し、単一の大学では達成できない多彩な教育研究への到達を図っています。

- 1) 学生1人につき主指導教員1人の他、副指導教員2人を充て、3人の指導体制をとっています。
- 2) 学生は、主指導教員が専任として在籍する構成大学に配属され研究指導を受けるが、他の構成大学の施設・設備も利用することができます。
- 3) 標準修業年限は4年ですが、優れた研究業績を挙げ、かつ、所定の単位を修得した学生は、3年の修了を認めることがあります。
- 4) 研究指導に加え、共通ゼミナールなどユニークなカリキュラムで、学生の多様な志向に適切に応えています。

講座案内

基礎獣医学講座

脊椎動物の形態と機能を研究する分野であり、病態・予防獣医学や臨床獣医学の基礎となるばかりでなく、広くライフサイエンスの一翼を担っています。

病態・予防獣医学講座

微生物学、免疫学、病理学、生化学等を専門とする指導教員が参加し、現在獣医学領域で問題になっている感染症、免疫病、腫瘍、代謝疾患の基礎的研究並びにその予防、治療法を解明しています。

臨床獣医学講座

臨床免疫学、臨床病理学、放射線学、麻酔学、分子生物学、神経生理学等の理論と技術を駆使して、高度の診断技術と的確な治療法を確立すると共に、病因の究明を行い、その予防方法を開発する研究を行います。